

三原市議会議員 あんどう志保 活動ダイアリー

みどりのはらっぱ



2018年5月発行 通算第11号 発行元：あんどう志保と「みどりのはらっぱ」の会
 〒723-0002 三原市中之町南 1402-66 ホームページ <http://shiho-ando.com>
 ☆新設しました→ facebook ページ <https://www.facebook.com/with.andoshiho/>
 TEL080-2932-4879 FAX0848-67-1779 メール andoshiho@gmail.com

お待たせしました！1年ぶりの活動報告です！
 市民のみなさまの代表として、2期目も1人会派「是々非々の会」で取り組んでいます！

市政のチェック

「議案を審査する」という意味での市政チェックはもちろんです。[消えたアルミ缶問題]、廃棄物の問題、[秦森康屯記念館]整備中止のその後など、情報公開請求や過去からの資料を調べたり、取材をしたりに多くの時間を費やしました。

国会で「資料を出せ」「資料はない」「答えられない」などのやり取りが続いていますが、三原市議会でも同じことが起きています。

平成29年度の情報公開請求を18回（うち2回は広島県）しました。



●アルミ缶問題で、市が「ない」と言っていた平成27年度分データを情報公開請求で明らかにし追求しました。新聞でも報道されました。

●産業廃棄物が一般廃棄物として、三原市清掃工場で不正処理されていた問題を、広島県への情報公開請求により明らかにし追求しました。



●平成28年度予算でもめた秦森康屯記念館の新規整備事業。記念館はつくらないことになったが、記念碑が建設されたことが平成28年度決算で隠蔽されていたことを指摘しました。

あんどう志保の平成29年

多岐にわたる議員の仕事。大まかに3つに分類すると、「市政チェック」への注力が大きい1年でした。



実現したい政策に向けた調査・提案・行動

<図書館>

駅前のにぎわいのために、移転と民間委託が決まった中央図書館。より多くの市民に親しまれ、利用していただけることは大切ですが、単に「集客目的」の図書館ではいけません。「地方自治の砦」「知の拠点」とも言われる社会教育施設としての機能を守れるよう求めてきました。引き続きがんばります。

<市民の声を反映する仕組みづくり>

議員になって5年間、一貫して要求しています。人口減少や財政縮小の流れで、「減らす」議論が必要になっており、市民の声を丁寧にきき、応えていく必要が高まっています。ほかの自治体の取組事例を学び、三原市民の声が行政に届く仕組みの導入を求めています。

その他、財政問題や、子どもの社会教育など多数。

市民のみなさまからのご要望・相談

<三原市の学校給食を考える会>

学校給食のことを考える若いお母さん達の集まりに呼んでいただき、心配されていること、詳しく知りたいことなどにお答えしてきました。より望ましい給食に向けて、何ができるかを、一緒に考えていきたいと思えます。

<「三原発電所」に向けて>

「親戚一同、お墓も遠方へ引っ越したため、三原市内の空き家を解体して太陽光発電をしたい。草刈りなどの管理を地域の団体へお願いして売電収入を還元したい」というご相談をいただき、H30年稼働に向けて、地域で発電事業の勉強会を開き、手続きのお手伝いなどを行っています。

ほかにも、施設、道路、地域運営など様々なご相談・ご要望を、市内全域からいただきました。

平成29年度「是々非々の会」政務活動費のご報告

※詳細報告は、あんどう志保ホームページに掲載しています。

研修費 (8月)	「地方自治と図書館」	25,000円
研修費 (3月)	「公共施設再編時代の図書館」	24,500円
	受講に伴う旅費 (東京)	43,840円
交付金額合計		93,340円

平成30年度の目標

- ◇【地域調査→提言】の実現
- ◇市民と行政の対話の土壌をつくる
- ◇言いたいことを伝える・伝えるスキルアップ
- ◇ストレッチと筋力アップ

降って湧いた事業総額約 30 億円の 不燃物処理工場の建て替え ：予算に反対

平成 30 年度も、平成 29 年度に続き当初予算に反対せざるを得ない状況でした。その理由の一つが不燃物処理工場の建て替え問題です。

- ❶ 新市建設計画や長期総合計画によって、**市民のみなさまと約束・合意していない大規模事業**
- ❷ 平成 28 年度に建設に向けた基本構想が作られたが、基本構想**策定の費用は予算化されず、議会説明もないまま、年度途中で予算を流用して**つくられた
- ❸ 平成 28 年の基本構想の内容が、平成 30 年度当初予算の説明では変更になっているが、**変更経緯が不明**
- ❹ 基本計画ができるのが 3 月 30 日とされ、**施設の内容や収集方法の変更などが決まっていない状態**で、平成 30 年度当初予算で建設費用が計上

駅前市民広場は、どうすることになったの？ これからどうなるの？

右記のように、市長より市議会に提案された案に対して、私は「公共投資の意義がくつがえされた」との反対意見を述べましたが、残念ながら、3つの建物からなる施設に決定しました。
頭と気持ちを切り替えて、今後は、この事業がどうやったらうまくいくか、考え動いていきます！

図書館	新たな利用者呼び込む
カフェ	集まり出会い交流できるオープンカフェ風
スーパー	中食需要対応の都市型スーパー
保育所	多様なライフスタイルに合わせた利用
サテライトスタジオ	地域密着情報の発信
駐車場	集約駐車場
レストラン	地元食材の朝食バイキング
ホテル	ビジネス・観光客をもてなす三原の顔

今後のスケジュール

平成 30 年 4 月より	：設計着手
平成 30 年 6 月議会	：図書館指定管理者の決定
平成 30 年	：図書館の利活用に向けて、市民の意見聴取予定
平成 31 年 4 月	：工事着手
平成 32 年 7 月	：供用開始

「消えたアルミ缶問題」は どうなったの？



平成 29 年

2 月：問題発覚

6 月：内部調査の結果、原因がわからないことを議会に報告

9 月：警察が捜査していることを議会に報告。市議会としても、市に対して、警察による捜査を要求

現在：結論はまだ出ていません

市として把握している動きのほか、報道によると、市民による刑事告発が 2 件受理されています。議会の中には、「不燃物処理工場で起きたこの問題が解決されないまま、工場建て替えを進めるべきでない」という意見もあります。

「消えたアルミ缶」ホームページ→
<https://alumikan.jimdo.com/>



3 月定例議会での反対討論の要旨



(平成 27 年
特別委員会)

駅前には民間開発を！
(平成 25 年市長選挙)

現状の人通りでは、民間だけでの開発はムリ。公共施設で人の流れを！
(図書館 17 億円)



平成 29 年民間提案募集で、ホテルを中心としたプランに決定

上記の経緯だが、図書館とホテルは利用者層が異なるため、図書館利用の人の流れを活かした民間開発になっていない。公共投資の意義がくつがえされた



平成30年度予算について

3月の定例議会で、一般会計予算に反対しました。反対討論で述べた理由は2つあります。

- ・不燃物処理工場のこと（左記をご覧ください）
- ・持続可能な財政運営でないこと

三原市の財政運営が持続可能でないと判断した理由は、天満市長になって借金依存の財政運営と経常経費の過度な圧縮があらわになったことです。数字の上からも明らかです。



① 借金依存の財政運営

	H17-H25 平均	H26-H30 平均
借入額	5,961,056 千円	6,473,040 千円
返済額	7,225,462 千円	6,456,912 千円

- ・当初予算で、平均借入額が約5億円/年アップ
- ・当初予算で、返済額を上回る借入（平成30は約4億円超過）
- ・補正予算で多額の繰上償還を行い、平成26～平

成28年度の決算総額で約26億円が追加補正で借金返済にあてられた。（比較：平成17～平成24の8年間で約24億円）

- ・平成28年度決算の借入は、三原市政において過去最高額。



② 経常経費の過度な圧縮

市税収入の減少や普通交付税の合併特例の段階的縮減などによって、一般財源の確保が難しくなっている一方、新たな課題対応のための新規事業も行われ、既存の事業は、毎年3%～10% (!) 圧縮の指示が出されている状況。同じ業務を続けながら、この5年間で予算半減した事業もあります。

事業の取捨選択、統合整理など、抜本的な見直しをせず、根性で切り詰めるやり方では、現場の負担が増え、市民生活に必要な事業の質が低下していくばかりです。

※平成29年度の築城450年事業には、約1億2500万円一般財源があてられました。

森林活用～「木の駅」に向けて

平成26年9月の議会で、「森林資源の活用に向けた仕組みづくりを！」「まずは活用可能性調査だけでも！」と訴えた時には、けんもほろろでしたが、平成29年度から試験的な取り組みが始まり、私も山仕事の研修や実習を見学・体験させてもらいました！



ポポロのこと

消防署がポポロ近くに移転することに伴い「ポポロの音環境は大丈夫なのか」とご相談をいただき、「ポポロを愛する三原市民の会」のみなさんと協力しながら動いてきた結果、市として必要な対策をとることになりました！音響の良さ、事業の質の高さによって、全国で高く評価される三原のポポロ。これからも多くの人に多くの感動をもたらしてくれますように！



料金受取人払郵便

723-8790



104

差出有効期間
平成30年12

月31日まで

切手不要

(受取人)

広島県三原市中之町南1402-66

あんどう志保と

「みどりのはらっぱ」の会



<ホームページからダウンロードして下さった方へ>
期間内、切手不要でご利用いただけます。

集計のため、あなたのことを教えてください。

◆年齢 歳 ◆性別 女 男 LGBTQ

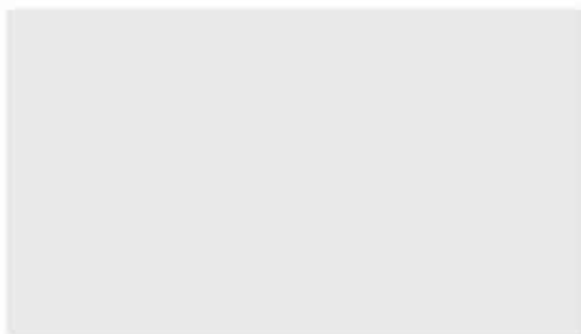
◆同居家族は…… 自分1人 複数人

複数人の内訳 1世代 2世代 3世代 その他

ご協力ありがとうございます！



ゆうメール



■ ■ ■ 人・もの・自然を大切にすまちに! ■ ■ ■

あんどう志保と「みどりのはらっぱ」の会

TEL/FAX 0848-67-1779 TEL 080-2932-4879

〒723-0002 三原市中之町南 1402-66 メール andoshiho@gmail.com ホームページ <http://shiho-ando.com/>

☆新設しました→facebook ページ <https://www.facebook.com/with.andoshiho/>



お便り、
ありがとう
ございます。

お寄せいただいたメッ
セージから抜粋してご
紹介します。

三原に来て 4 年半ですが、あんどう志保さんという信頼できる方が市議をされているおかげで、ようやく市政にも関心を持ち始めました。

わたしも子育て中なので、どんな三原になるかは、我が子が近い将来どんな町で暮らすかということに直結すると思うと、「母」の気持ちのわかる女性議員さんがいてくれることが心強いです。知ろうとしなければ、どんどん色々なことが決まっていきます。気づいた時には…なんてことにならないように、色々教えてもらいながら、関心を持って、時には声に出していきたいと思っています。誰かが、じゃなく、ひとりひとりが、になるといいと思っています。

あんどう志保とみどりのはらっぱ」の会 11 号アンケート

1. 市議会は必要だと思いますか?

はい / いいえ / わからない

理由

2. 自分の思いを議員に託せていると思いますか?

はい / いいえ / わからない

理由

3. 友人・まわりの人と政治の話をしますか?

はい / いいえ / どちらとも言えない

理由

自由にご意見をお書きください。

「みんなで知ろう! 考えよう 三原の今と未来 ~あんどう志保さんにきいてみよう~」 が開催されました。



去る 4 月に「きはら楽観堂」で開いていただきました。おかげさまで好評で、リクエストの声をいただき、夏にも企画していただける予定です。興味のある方は、楽観堂さんへお問い合わせください。

自然派のおいしいスパイス・カレーと喫茶とお菓子のお店です。☎090-1182-5781

4 月の「知ろう! 考えよう」のレポートはこちらの QR コードから! (安藤志保ブログ) →→→



あんどう志保の基本姿勢

- ✖ 組織や団体にしばられず、自分で考え行動すること
- ✖ 市民の目線で、税金の使い方をチェックすること
- ✖ 将来にツケをまわさない「未来への責任」を持つこと
- ✖ 課題の解決とともに、問題の予防に力を注ぐこと
- ✖ 批判するだけでなく、具体的な政策を提案すること